

VOL.143

農協からのお便り

2
2020

グリーン
Green
地域と農業をむすぶJA広報誌

今月の表紙

新規就農者激励会 & JA役職員新年交礼会



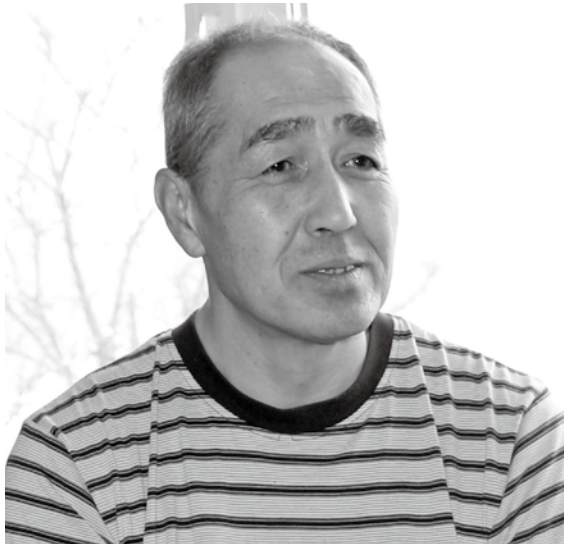
新規就農者激励

Topics

- ・特集（石山浩幸さん）
- ・新規就農者激励会
- ・愛別小学校で食育授業

他

「農業を支える意気込み」は地元を愛する何よりの証し



●上川町もち米生産団地組合 組合長
石山 浩幸 さん

昭和38年 上川町生まれ
昭和56年 愛別高校を卒業
ホテル勤務
平成1年 就農

《経営概要》

・水田	11.5ha
・そば	8.0ha
・ミニトマト	0.1ha
・直販用野菜	0.2ha

Uターン就農でいざやってみると解らないことだらけ…。

そんなとき、「青年部の先輩や地域の方々に教えてもらい、助けていただいた。そんなあっという間の30年でした」と感謝の想いを口にされた石山さん。

同じころには北海道農連青年部の役員もやらせていただき、「道内の多くの仲間と交流や研鑽を積むことができたことも忘れられません」という言葉からは、外に出て学ぶことの大切さも感じます…。

「いま、農業には多くの課題があると思う。しかし、地域には若い後継者たちが育ってきており、悲観的には思っていない。むしろ、新しい農業への技術革新のもと、今後どのように変わっていくのか楽しみ！」という。

その上で、「地域農業の維持・発展にJAの役割はますます大きくなる。また、組合員も出資者としての自覚と意識改革が必要」という思いは、今後の地域・JAの運営に心強く感じます。

「先輩方と月に1・2回程度、お酒を飲みながら談笑することが何よりの楽しみで、趣味はアンティーク時計の収集」という石山組合長。

JAや地域を取り巻く環境も大きく変化している時代…。

そんなときだからこそ、「全体を把握する鳥の目、深く相手を知る虫の目、世の流れを把握する魚の目」の3つの目で物事を捉えていくことが大切なことだと感じました…。

6名の新たな門出を祝う・・・

新規就農者激励会を開催



愛別町蔵らにて新規就農者激励会を開催しました。当日は約80名の役職員及び関係者の出席を頂き、今年には6名の新規就農者の方々に激励状と記念品が贈呈されました。激励会の挨拶では野口組合長より協同組合活動の理念「一人は万人のために万人は一人のために」の言葉と、農業の先輩として激励の言葉を送りました。

また、激励状は美深高等養護学校あいべつ校3年生の皆さんが丹精を込めて作成してくれたものです。



平成31年度対象者

愛別地区 森定裕介様
 奥山豊介様
 松林智洋様
 佐々木孝志様
 砂川国広様
 武田健一郎様
 上川地区 (お名前は順不同)

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合 JAと農業

監修=JCA (日本協同組合連携機構)

くらしと農業の調和「都市農業」

都市農業は新鮮で安全な農産物を供給するだけでなく、災害時の防災空間や農業体験・交流の場の提供などの役割も持っています。人口が集中する都市部で、都市住民に農業を身近に感じてもらい、農業が育んできた歴史・文化に触れてもらうことは、農業への理解の醸成につながると期待されています。また、都市住民の中にも都市農地を残すべきという認識が定着しています。

2015年に「都市農業振興基本法」が成立し、16年5月には「都市農業振興基本計画」が閣議決定され、これまで「宅地化すべきもの」とされていた都市の農地は「あるべきもの」と位置付けられました。JAグループは、直売所の設置促進、学校給食への食材提供、体験型農園の実施、生産緑地制度(農業の継続を条件に税制上の優遇等を受けられる仕組み)の活用などを通じて都市農業の振興を目指しています。

語句解説

【都市農業】(としのうぎょう)

都市農業とは「市街地およびその周辺の地域において行われる農業」と定義されています。都市農地の中核となる市街化区域内の農地面積は、2017年、わが国農地面積の2%に相当する6.9万haあります。生産緑地地区に指定された農地は1.3万haと一定の面積が維持されています。市民農園の数は、土に触れ、野菜や草花を育てたいという都市住民の需要の高まりを受け、都市的域を中心に年々増加しています。

都市農業が全国に占める割合

	農家戸数	農地面積	販売金額(推計)
全国	215.5万戸	444.4万ha	5兆8,366億円
市街化区域(対全国比)	22.8万戸(11%)	6.9万ha(2%) うち生産緑地 1.3万ha(0.3%)	4,466億円(8%)

注1:全国の数値は、「農林業センサス」(2015年)等による。
 注2:都市農業の数値は、「固定資産の価格等の概要調査(2017年)」等を用いた推計による。
 農水省資料より作成

都市農業の多様な役割



農水省資料より作成
 耕そう、大地と地域のみらい。

今年の笑顔も素敵でした…

農協年金友の会温泉湯治を開催!!

11/26～
地区合同



上川中央農協年金友の会は、11月26日から3泊4日の日程で、会員相互の親睦と、日頃の疲れを癒してもらうため、温泉湯治を開催いたしました。

今回の参加人数は、会員32名（本所22名、支所10名）でしたが、輪投げ大会から始まり、カラオケやカーリンコン、パークゴルフに〇×クイズ、じゃんけん大会などに参加し、楽しいひとときを過ごしました。

今回参加できなかった会員の皆様や、今後年金を受給される皆様も、次回の温泉湯治には一緒に行けますよう、心よりお待ちしております。

なお、今後も沢山の行事を予定しております。

家の光雑誌を活用して学ぶ、SDGsとは?

JA上川地区女性部研修大会に参加!!

12/6
JA女性部



星野リゾートOMO7旭川にて、令和元年度JA上川地区女性部研修大会（併催：家の光大会）が開催されました。

今回の大会のテーマが「家の光とともに歩む」であり、研修内での家の光持ち寄り読書会にて、当JA愛別支部長の藤村仁美さんが家の光に記載されている記事の中で、身近にある「SDGs」について朗読されました。

会場には各JA女性部から集められた、家の光を活用した手芸品の数々が並び、参加者達は色々な作品を手に取り創作意欲を掻き立てられ、とても有意義な研修会となりました。

骨格診断でタイプ別のステキな装い…

JA上川地区交流会に参加!!

12/20
JAフレミズ



上川管内のフレッシュミズ交流会がJAビルで開催されました。

当フレッシュミズからも、成田部長、渡辺副部長と最近加入した佐々木さんが参加されました。

前段行われた研修会では、骨格診断の先生をお招きし、タイプ別にどのような装いがよりステキになるかを教わり、みなさま、興味津々にいっぱい質問をしていました。

その後の懇親会でも、骨格診断の話で盛り上がり、他の地区の方々との情報交換もでき、有意義な交流となりました。

食物の栄養とバランスの大切さ伝える… 愛別小学校食育授業を開催!!

12/3～
JA女性部



JA女性部愛別支部が愛別小学校で食育授業を開催しました。
昔農深雪さん（字愛別）が講師となり、女性部員がサポートする形で授業を進めました。
授業は3日間、食物栄養とバランスなど食の大切さについて、各グループ意見をまとめる参加型で行われました。
次は1月に食べる食育授業も予定、子供達が食に興味を持つきっかけとなることを期待しています。



役員定数・選出方法の見直しの考え方など… 農協座談会を開催!!

12/26・27
愛別・上川

農協座談会を本所（12/26）・支所（12/27）大会議室で約50名の（役員含む）の参加を頂き開催しました。
懇談会では、今後のJA事業方針（役員定数の見直し・役員推薦委員の選出方法の見直し・営農関連施設の合理化・給油所の営業時間見直しの考え方）などについて、常勤役員より説明させていただき、皆様から貴重なご意見をいただきました。
ご意見なども参考にさせていただきます、今後の事業運営に反映して参ります。



12/26 本所座談会での質疑



12/26 本所座談会の懇親会



12/27 支所座談会後の懇親会



出荷頂きありがとうございます。 令和1年産米 入庫終了の報告について

令和1年産米の色選処理・検査及び入庫処理が12月26日で終了致しましたので報告致します。

令和1年産うるち米入庫実績表

令和2年1月31日現在 単位：俵

種別	区分	品 種 名	1 等					品 種 計	
			1次	2次	3次	4次	8次		9次
愛 別 地 区	主 食 用 米	ほしのゆめ	84.5					11.0	95.5
		きらら397	1,434.0						1,434.0
		ななつぼし	14,385.5		247.0		1,115.5		15,748.0
		ゆめびりか	1,963.5	1,846.0	2,402.0	16.5			6,228.0
		イエスクリーンきらら397	774.0					85.5	859.5
		イエスクリーンななつぼし	4,034.0		83.0		117.5	288.0	4,522.5
		イエスクリーンゆめびりか	1,453.0	1,182.5	80.5	99.5			2,815.5
		おぼろづき	70.0						70.0
		あやひめ	45.0						45.0
		ゆきさやか	610.0						610.0
	えみまる	181.5						181.5	
	酒 米	吟風	1,533.5						1,533.5
		彗星	957.0						957.0
		きたしずく	236.0						236.0
	小計	27,761.5	3,028.5	2,812.5	116.0	1,244.0	373.5	35,336.0	
	備蓄用米	102.0						102.0	
	加工用米	5,524.0						5,524.0	
	合計	33,387.5	3,028.5	2,812.5	116.0	1,244.0	373.5	40,962.0	

- ・主食用米の次数区分 1次=タンパク6.9～7.9% 3次=タンパク6.8%以下 8次=タンパク8.0～8.4% 9次=8.5%以上
- ・酒米の次数区分 1次=1等 2次=特等 3次=タンパク6.8%以下 4次=特等+タンパク6.8%以下
- ・ゆめびりかの次数区分 1次=第1区分(タンパク6.9～7.4%) 2次=第2区分(タンパク7.5～7.9%) 3次=第3区分(タンパク8.0%以上)
- 4次=第1区分S(タンパク6.8%以下)
- ・おぼろづきの次数区分 1次=第1区分(タンパク7.9%以下)

令和1年産もち米入庫実績表

令和2年1月31日現在 単位：俵

種別	区分	品 種 名	慣行栽培 1等		特別栽培 1等		品 種 計	備 考
			1次	2次	1次	2次		
愛 別 地 区	主 食 用 米	はくちょうもち	580.0				580.0	
		風の子もち	12,269.0				12,269.0	
		きたゆきもち	9,675.0				9,675.0	
	小計	22,524.0				22,524.0		
	加工用米							
	愛別合計	22,524.0				22,524.0		
上 川 地 区	主 食 用 米	はくちょうもち						
		風の子もち	8,304.5		3,926.5		12,231.0	
		きたゆきもち	7,671.5				7,671.5	
	小計	15,976.0		3,926.5		19,902.5		
	加工用米	3,559.5						3,559.5
	上川合計	19,535.5		3,926.5		23,462.0		
合 計	主 食 用 米	はくちょうもち	580.0				580.0	
		風の子もち	20,573.5		3,926.5		24,500.0	
		きたゆきもち	17,346.5				17,346.5	
	小計	38,500.0		3,926.5		42,426.5		
	加工用米	3,559.5						3,559.5
	合計	42,059.5		3,926.5		45,986.0		



平成30年産米に係る最終精算報告並びにもち米追加概算報告

1. うるち米

単位:円 (1俵あたり)

品 種	等級	品 位	入庫時概算払			追加概算 30.12.25				追加概算 R1.8.22		最終精算 R1.12.9		
			入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追加概算金	JA独自仮渡金返還	差引	合計	追加概算金	合計	精算金	Yes! Clean 加算金	合計
			A	B	C=A+B	D	E	F=D+E	G=C+F	H	I=G+H	J	K	L=I+J+K
ななつぼし	1等	一般(1次)	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	400	14,400	518		14,918
		低蛋白(3次)	13,900	400	14,300	600	-400	200	14,500	400	14,900	518		15,418
		高蛋白(8次)	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	400	14,400	518		14,918
		高蛋白(9次)	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	400	14,400	481		14,881
ほしのゆめ	1等	一般(8次)	13,400		13,400	600		600	14,000	300	14,300	307		14,607
		高蛋白(9次)	13,400		13,400	600		600	14,000	300	14,300	307		14,607
きらら397	1等	一般(1次)	13,400		13,400	400		400	13,800	300	14,100	346		14,446
		高蛋白(9次)	13,400		13,400	400		400	13,800	300	14,100	346		14,446
おぼろづき	1等	第1区分	13,700		13,700	600		600	14,300	300	14,600	473		15,073
		第2区分	13,400		13,400	900		900	14,300	300	14,600	73		14,673
あやひめ	1等	区分なし	13,400		13,400	600		600	14,000	300	14,300	355		14,655
ほしまる	2等	区分なし	12,752		12,752	400		400	13,152	300	13,452	255		13,707
	3等	区分なし	11,672		11,672	400		400	12,072	300	12,372	255		12,627
ゆめぴりか	1等	第1区分	14,500	400	14,900	1,000	-400	600	15,500	200	15,700	808		16,508
		第2区分	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	200	14,200	675		14,875
		第3区分	13,000	400	13,400	600	-400	200	13,600	400	14,000	525		14,525
イスクリーン ななつぼし	1等	一般(1次)	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	400	14,400	518	110	15,028
		低蛋白(3次)	13,900	400	14,300	600	-400	200	14,500	400	14,900	518	110	15,528
		高蛋白(8次)	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	400	14,400	518	110	15,028
イスクリーン きらら397	1等	一般(1次)	13,400		13,400	400		400	13,800	300	14,100	346		14,446
		高蛋白(9次)	13,400		13,400	400		400	13,800	300	14,100	346		14,446
イスクリーン ゆめぴりか	1等	第1区分	14,500	400	14,900	1,000	-400	600	15,500	200	15,700	808	100	16,608
		第2区分	13,400	400	13,800	600	-400	200	14,000	200	14,200	675	100	14,975
		第3区分	13,000	400	13,400	600	-400	200	13,600	400	14,000	525	100	14,625

2. 酒造好適米

品 種	等級	入庫区分	入庫時概算払			追加概算 R1.8.22				最終精算 R1.12.9	
			入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追加概算金	JA独自仮渡金返還	差引	合計	精算金	合計
			A	B	C=A+B	D	E	F=D+E	G=C+F	H	I=G+H
吟 慧 きたしずく	1等	第1区分	13,500	400	13,900	1,500	-400	1,100	15,000	483	15,483
		第2区分	12,000	400	12,400	3,000	-400	2,600	15,000	483	15,483

3. 加工用米

品 種	等級	入庫時概算払			追加概算		最終精算	
		入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追加概算金	合計	精算金	合計
		A	B	C=A+B	D	G=C+F	H	I=G+H
加工用うるち米	1等	9,500		9,500	300	9,800	588	10,388
加工用もち米	1等	8,000		8,000	2,300	10,300	370	10,670

4. もち米

品 種	等級	品 位	入庫時概算払			追加概算 30.12.25				追加概算 R1.9.6		今回追加概算 R1.12.20	
			入庫時概算金	JA独自仮渡金	入庫時概算払計	追加概算金	JA独自仮渡金返還	差引	合計	追加概算金	合計	追加概算金	合計
			A	B	C=A+B	D	E	F=D+E	G=C+F	H	I=G+H	J	K=I+J
はくちょうもち	1等	仕分無し	11,500	500	12,000	1,000	-500	500	12,500	1,000	13,500	500	14,000
風の子もち			11,500	500	12,000	1,000	-500	500	12,500	1,000	13,500	500	14,000
きたゆきもち			11,500	500	12,000	1,000	-500	500	12,500	1,000	13,500	500	14,000

日米貿易協定の虚偽と 隠ぺいは、誤っている

双方ワイン・ワインか

日米貿易協定の内容を見ると、TPP（環太平洋連携協定）合意のときに米国が約束した自動車とその部品の関税撤廃と牛肉の関税撤廃は反故になり、日本の米国産牛肉輸入の合意は「TPP超え」となり、さらに、協定とセットで、六〇〇億円近くの米国の余剰穀物の「肩代わり」購入を（害虫対策の名目で）約束した。日本側は「ワイン・ワイン」と表現しているが、トランプ大統領にとって自動車も勝ち取り農産物も勝ち取った「ワイン・ワイン」のように思われる。日本にとって非常に「片務的」なトランプ大統領の選挙対策のための「つまみ食い」協定である。

米国は自動車関税の撤廃を約束したのか

日本側は合意文書を開示せず、「時期は決ま

っていないが自動車関税の撤廃は約束された」と説明して署名したが、署名後に公にされた米国側の約束文書（英文）には「自動車関税の撤廃についてはさらなる交渉にゆだねられている」（なぜか邦訳は出さない）とあり、これが関税撤廃の約束なら「天地がひっくり返る」。米国側も「米国の自動車関税の撤廃はこの協定に含まれていない」と交渉トップがコメントし、効果試算についても、「日本は自動車とその部品の関税撤廃が合意されていないのに、撤廃を仮定して経済効果を計算した」と評している。

米国の関税撤廃率は九二%で、 高い貿易カバ―率が確保できたのか

対米輸出の四一%が自動車とその部品である（二〇一八年）。約束されていない関税撤廃をしたと仮定して米国側が貿易額の九二%を関税撤廃したという日本政府発表は、本来なら九二%



すずき・のぶひろ

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学教授などを経て、2006年より現職。専門は農業経済学、国際貿易論。著書に『食の戦争～米国の農に落ちる日本』（文春新書）、『ここが間違っている！日本の農業問題』（家の光協会）などがある。

から四一%を引いた五一%に訂正されるべきである。「つまみぐい協定」の横行が世界大戦まで招いた反省から生まれたガットのルールに基づいて各国が努力してきたので、過去のFTA（自由貿易協定）で貿易のカバ―率が八五%を下回った協定はほとんどない。前代未聞の国際法違反協定を国会承認するなら、戦後築き上げてきた世界の貿易秩序を破壊する引き金になりかねない。

日本からの牛肉輸出をTPP以上に 勝ち取ったのか

日本はTPP合意で得たものを失った。対米牛肉輸出の低関税枠は現在二〇〇トンしか認められていない。TPPでは低関税枠の拡大をしつつ、枠も枠外関税（二六・四%）も一五年目に撤廃される約束だったことを隠して、今回は二〇〇トンから複数国枠にアクセスできる権利

を得たのでTPP合意より多くを勝ち得たと政府は言った。実質的には多少の枠の拡大（二〇〇トンを少し超えても枠内扱いが可能になる程度）にとどまり、得たものはTPPで合意していた関税撤廃とは比較にならないほど小さい。

米国からの牛肉輸入はTPP合意にとどめられたのか

日本は米国にTPP11協定よりスピードアップして牛肉関税を三八・五%から九%まで削減する上、牛肉の低関税が適用される限度（セーフガード）数量は、米国向けに新たに二四・二万トン（二九・三万トンまで増やす）を設定した。TPP11で設定した六一・四万トン（七三・八万トンまで増やす）は、TPPで米国も含めて設定した数量がそのままなので、日本にとっては、米国分が「二重」に加わるTPP超えである。

しかも、驚くべきことに、枠を超過して高関税への切換えが発動されたら、それに合わせて枠を増やして発動されないようにしていく約束もしていることが付属文書（サイドレター）で判明した。これでは、もはや一定以上の輸入を抑制するセーフガードではなく、米国からの牛

肉輸入を低関税でいくらでも受け入れていくことになる。

コメや乳製品は勝ち取ったのか

コメはトランプ氏のカリフォルニア（民主党に絶対負ける州）への「いじめ」で除外されたが、コメ団体は当然反発している。乳製品も米国の「二重」設定は先送りされたが、酪農団体も反発している。日本側の約束内容に「米国の将来の交渉において農産物に対する特惠的な待遇を追求する」という米国の強い意思表明が組み込まれている。今回含まれなかった部分で「TPP水準以内にとどめた」というような評価は到底できない。

自動車のために農業を差し出し続けるのか

記者会見で日本の交渉責任者は米国との今後の自動車関税撤廃の交渉にあたり、「農産品というカードがない中で厳しい交渉になるのは」との質問に答えて「農産品というカードがないということはない。TPPでの農産品の関

税撤廃率は品目数で八二%だったが、今回は四〇%しかない」、つまり、「自動車のために農産物をさらに差し出す」ことを認めている。

二五%の自動車関税の非発動は約束されたのか

米国は国家安全保障を名目にして自動車関税の二五%への引上げをWTO違反ではないと正当化しようとしてきた。今後は二五%関税は発動しない約束ができた。日本側は説明しているが、協定本文に「協定のいかなる規定も安全保障上の措置をとることを妨げない」とある。これは、安全保障を理由にした自動車への二五%関税はいつでも実施できると解釈できる。逆に、安全保障のために食料の国境措置は守ると我が国も主張する気概がほしいところである。

要は、EUのようにWTO違反行為には提訴して断固闘うべきところを、日本は「自動車に二五%関税をかけられるよりはましだろう」という「犯罪行為」に脅され、「犯罪者に金を払って許しを請う」（細川昌彦・中部大学教授）た上、日米で更なる犯罪行為（WTO違反）に手を染めてしまったといえる。

するーライフ 2章

夢を叶えるため・・・『家族を想うとき』

「家族を守るはずの仕事が、家族を引き裂いて行く」この不条理を問う映画作品に出会った。12月押し迫った札幌の劇場は80席が埋まった。2016年カンヌ国際映画祭で2度目のパルムドールを受賞したケン・ローチ監督は一度表舞台から降りた。しかし背中を押されるように『家族を想うとき』を製作し世の人々に投げかけた。気付かないうちに多くの利便性を享受して来た現代は、その根本の歪みが露呈し変革を求める声が立ち上がり始めている。映画はイギリス、ニューカッスルに住む夫婦と子供2人の日常が舞台である。



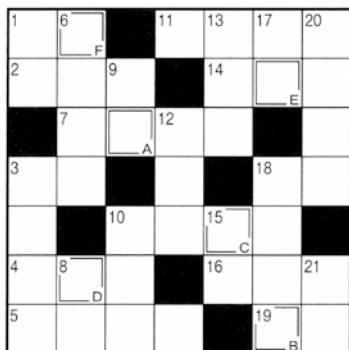
マイホームを夢見る夫はその夢を叶えるために、フランチャイズの宅配ドライバーとして独立することを決心する。妻はパートタイムの介護福祉士として時間外まで1日中働いている。宅配用の車を購入する頭金のため、妻の自家用車は処分された。妻はこれまでの通勤や移動手段が自家用車からバスへ変更を余儀なくされた。宅配ドライバーの仕事は基本的に年中無休に近い内容だった。

理不尽な運営スタイルが事業者の自由を奪い始めた。その日の配送割当ての梱包の山が用意され、ナビには届け先のデータが打ち込まれていた。受け取り拒否に遭遇したり罵声を浴びたり、宅配ドライバーに悲哀を感じた。家族との団欒時間もなくなって来た。妻もパートタイムで介護する老人達に翻弄され疲れ果ててしまう。子供達が何を考えているかを考える余裕も失った。夫の宅配ドライバーの仕事は、息子の学校からの呼び出しにも顔を出すことすら躊躇させてしまう。夫婦もストレスからお互い大声で罵り合う。息子は学校を抜け出して悪友と、スプレー缶で工場の壁に奇妙な絵を描いては逃げる。夫は深層部分を探ることなく息子を怒鳴り散らす。

息子の反抗は更にエスカレートして行く。娘は娘で家族という関係が崩れて行く様に情緒不安に陥る。ケン・ローチ監督が用意した家族崩壊のドラマは、私達が日常で経験したものの経験しやすいものとなり観客を劇中に引き込んだ。ストレスを抱えての宅配ドライバーの事故を暗示するシーンを織り交ぜながら展開して行く。場面は宅配車両の襲撃へと、骨材を用意した犯人達に滅多打ちされる主人公。車両に積まれた梱包の箱は無残に開封され盗み出され散逸した。命のように肌身に付けていたナビゲーターも破壊された。

病院に搬送され検査を受けた。「骨折の恐れあり」で精密検査が用意された。派遣先から妻が駆け付けた。主人公は宅配に穴を開けて課せられる運営会社からの罰金や弁償金などが頭を駆け巡った。体の心配は二の次だった。自宅静養の許可を貰い久し振りの夫婦の時間だった。しかし夫の頭の中は依然として宅配ドライバーとしての意識が優先した。早速、翌朝車両の鍵を漁った。誰か悪戯したのか見つからない。夫は問題児の長男に襲い掛かった。あろうことか長男が大事にしているスマホを取上げ床に投げ付けた。妻の有めにも貸す耳は無かった。現代の子供にとってスマホが特別な物となっている事を夫は知り得なかった。鍵は末の娘が隠していた。家族が崩壊して行く事を最も感じ取っていた彼女の父への抵抗だった。夫は鍵を受け取り傷など癒えているはずもない体で宅配車に乗り込んだ。二人の子供と妻はエンジンのかかった車を必死に止めにかかった。無残に宅配車は彼方に消えて行った。ケン・ローチ監督はこういうラストシーンでしか現代の病は語れないと、その先の答えを観客に委ねた。深い命題を与える作品となっている。

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 雲が浮かんだり星が輝いたり
- 2月23日は――誕生日。国民の祝日です
- 受験生が種肥を担いで食べることもある揚げ物
- 人が並ぶとできます
- 港――。城下――。――工場
- 良いだしが出る海藻
- しばしば野党とやり合います
- 2020年は――年。2月が29日まであります
- 将棋の盤面に並べる物
- 走り高跳びの選手が跳び越えます
- 読経に合わせてポクポクたたきます
- 繻、結、繻に共通の部首
- XとZの間

ヨコのカギ

- 鬼は――。福は内
- 天井とかもいの間には作られます
- 元素記号はFe。身近な金属です
- 銭湯へ入るときにくることも
- 床側に腹を向けて寝そべります。――寝
- 自然の美しい風景を表す言葉、――風月
- ちらしやCMもこの一手法
- 赤い花が咲く梅のこと
- √の記号で表します
- 出発――になって忘れ物に気付いた
- 寺院へ入るときにくることも
- 酒を飲むと回る人もいます

先月号の答え

パズル? 頭の体操



解答	A	B	C	D
	エ	キ	デ	ン

JAのあゆみ 1月

- 6日 仕事始め(朝礼)
- 7日 上川町もち米生産団地組合合作況報告会
- 8日 新規就農者激励会
- 9日 新年交礼会
- 10日 上川地区農協組合長会議(旭川)
- 14日 中央会内部監査期中Ⅱ(17日)
- 17日 第4回JA女性部愛別支部役員会
- 19日 JA女性部上川支部との意見交換会
- 23日 第1回愛農機連役員会及び監査
- 27日 JA畜産振興会反省会
- 29日 (層雲峡)20日)
- 30日 新任理事研修(2年目)(江別)24日)
- 31日 JA青年部新年会及びJA職員交流会
- 31日 第12回定例理事会
- 31日 第5回農家経済対策委員会
- 31日 愛別町農業再生協議会推進会議
- 31日 上川町農業団体合同懇談会
- 31日 JA女性部愛別支部食育活動
- 31日 (小学校)
- 31日 上川中央部JA将来構想検討委員会役員会

組合員のうごき

(令和元年12月23日現在)

総組合員数	2,340名
正組合員数	523名
うち団体数	33団体
准組合員数	1,817名
うち団体数	61団体

第11回定例理事会

令和元年12月23日開催

- 1 報告事項
 - 組合員の脱退について
 - 3名の脱退について報告した。
 - 臨時給与の支給について
- 2 第10回理事会承認内容に基づき支給内容を報告した。
- 3 行政に対する要望書見書の回答について
- 4 両町より回答書を受理したので、内容を報告した。
- 5 平成30年産米の最終精算について
- 6 米の最終精算並びに追加払いの内容を報告した。
- 7 大根冷蔵庫冷却器の改修取得の内容について報告した。
- 8 農家経済対策委員会の内容報告について
- 9 12月13日の開催内容を報告した。
- 10 要領の改正について
- 11 2件の改正内容について報告した。
- 12 議事
 - 1 第3四半期JA監事監査額米について
 - 12月に実施された第3四半期監査の内容を報告し、改善経過などについて承認された。
 - 2 資金の融資について
 - 2件の融資について審議の結果、承認された。
 - 3 理事に対する資金の融資について
 - 2件の融資について利益相反者3名の退席のもと審議され、承認された。
 - 4 ハウリース資産の部修正について
 - 消費税改正に伴う契約期間の変更、総事業費の減額による金額変更について承認された。
 - 5 令和元年産大豆そば数量払い仮渡について
 - 各品目に対する単価並びに仮渡金額について審議し、承認された。
 - 6 追加議案
 - 1 資金の融資について
 - 2 件の融資について審議の結果、承認された。

募金についてのお礼とご報告

令和元年度台風等(8月九州北部豪雨及び台風15号・19号)にかかるJA支援募金へのご協力をお願いしたところ、皆様よりお寄せいただきました義援金の総額が

217,349円となり、

全中豪雨台風支援募金に振り込みましたことをご報告致します。なお、全国の募金結果は日本農業新聞等を通して報告され、募金は主要被災地県の災害対策本部に贈呈されます。

皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。ご協力ありがとうございます。

大変お世話になりました

竹本 広 伸

購買課 検査係

(12月31日付)

伊藤 博 之

上川営農センター 営農販売係

(12月31日付)

横尾 修 一

資材課 愛別給油係

(1月31日付)

令和元年(2019)度 上川農業試験場 新技術発表会のご案内

上川地域の農業に利用できる最新の研究成果や新品種を研究員がわかりやすく紹介します。また、農業改良普及センターの活動事例について紹介します。

開催日 令和2年2月27日(木)

開催場所 美瑛町農業協同組合3階大ホール室

詳細は、上川農業試験場ホームページ上にて公開されます。

問い合わせ先 上川農業試験場 TEL:0166-85-2200



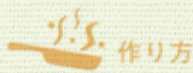
カブと鶏肉のあんかけ

今日の
オススメ



材料(2人分)

鶏モモ肉	150g程度
刻んだカブの葉	適宜
すりおろしたユズの皮	適宜
カブ(皮をむき半分に切る)	2個分
昆布だし(1)	3カップ
酒	1/4カップ
サラダ油	小さじ1
水溶性片栗粉	小さじ1と1/2
塩	適宜



作り方

- (1) 5cm幅に切った昆布1枚を3カップ程度の水に1晩漬け、昆布だしを取る。
- (2) フライパンにサラダ油をひき、一口大に切った鶏モモ肉を入れ、焼き色を付ける。
- (3) 別鍋にカブ、昆布だし、酒と塩ひとつまみを入れ中火にかける。
- (4) カブが軟らかく煮えたら焼き色を付けた鶏肉を加え、ひと煮立ちさせる。水溶性片栗粉でとろみをつけ、カブの葉を入れる(味が薄いようなら塩で味を調える)。
- (5) 器に盛り付け、仕上げにすりおろしたユズの皮を散らし出来上がり。

地酒『ふしこ』を **愛** する夕べ

と き 令和2年2月21日(金) 午後6時から

と ころ 蔵 KURARA S

参加費 2,500円

主 催 あいべつ地酒を創る会

チケット J A 営農販売課、木村商店、梅津商店
販 売 愛別商工会

